

# 榛東村ストックハウス 個別施設計画

**【平成 31（2019）年度～平成 40（2028）年度】**

本計画は榛東村で所有するリサイクル集積所であるストックハウスの長寿命化について定める計画であり、榛東村公共施設総合管理計画に基づく個別施設計画である。

本計画に基づき、ストックハウスの計画的な保全による長寿命化を推進することにより、安全な施設の維持管理、サービスの向上を図ることを目的とする。

**平成 31 年 3 月**

**榛東村 住民生活課**

## 1 対象施設（ストックハウス施設概要）

### （i）設立

本施設はゴミの減量化、ゴミ処理の多様化、リサイクルの推進などに対応するため、旧庁舎敷地内に残存する車庫を使用し開設された。平成 23 年 6 月 25 日から施設の利用が開始され現在に至る。

### （ii）所在地

榛東村旧庁舎跡地 榛東村大字山子田字萱場 1256 番地 1

### （iii）施設情報

名称	建築年	経過年数	延床面積（㎡）	主たる構造	階層
旧庁舎車庫	平成 10 (1998) 年	21 年	20.15	鉄骨造	1

## 2 計画期間

本計画の期間は、平成 31 年 4 月から平成 41 年 3 月まで（10 年間）とする。なお、計画の内容については、5 年を目安に劣化状況、利用者の状況等に応じて見直しを行うものとする。

## 3 対策の優先順位の考え方

### （i）ストックハウスの機能

- ① 本施設はゴミの減量化、ゴミ処理の多様化、リサイクルの推進などに対応するために設置されたものであり、資源ゴミの拠点回収を行う施設である。
- ② 本施設で回収できる資源ゴミの種類は以下のとおりである。
  - ・段ボール
  - ・新聞
  - ・雑誌
  - ・ペットボト
  - ・アルミ
  - ・スチール
  - ・一升瓶
  - ・ビール瓶
  - ・ビン類（無色・茶色・その他）
  - ・ペットボトルのキャップ
  - ・古着
  - ・牛乳パック
  - ・小型家電

(ii) 利用者数及び種類別取引実績

平成 29 (2017) 年度の利用者数及び種類別取引実績は以下のとおりである。利用者数は年々増加傾向にあり、リサイクルに対する意識の向上から、今後も増えていくことが予想される。

平成 29 (2017) 年度利用者数

月	利用人数 (人)
4 月	919
5 月	724
6 月	854
7 月	914
8 月	1,036
9 月	957
10 月	751
11 月	820
12 月	955
1 月	975
2 月	845
3 月	1073
累計	10,823

平成 29 (2017) 年度種類別取引実績

資源ゴミ種類	引渡量 (kg)	販売額 (円)
段ボール	9,570	86,130
新聞	18,100	162,900
雑誌	10,600	74,200
ペットボトル	4,950	17,030
アルミ缶	2,190	87,600
スチール缶	840	840
一升瓶	591	652
ビール瓶	347	2,376
ビン類 (無色・茶色・その他)	6,400	0
ペットボトルのキャップ	231	0
古着	2,300	7,240
牛乳パック	400	2,000
小型家電	2,750	2,750
合計	59,269	443,718

(iii) 重要性

環境問題を抱える現代では、住民一人ひとりが環境問題への意識を持ちリサイクル等に取り組む必要があると考えられる。ストックハウスは住民が直接資源ごみを持ち込む拠点回収という形式をとっており、分別も住民自身で行う。ゴミの減量化やリサイクルの促進としての役割のほかに、住民の環境問題への意識を高める役割も担っており、本施設の社会的役割は大きく重要な施設だと言える。

(iv) 優先順位についての考え方

対象施設の劣化が見られる箇所から、改修等を行う。また、近年ではリサイクルに対する意識の向上から、利用者は増加傾向にある。今後も安全に施設を利用するために、対策を検討していく。

#### 4 個別施設の状態等

旧庁舎車庫

部位	所見
建築物の外部	外壁にへこみや錆等がやや認められる。
破風及び屋根	トタン素材のため年数経過による錆び付きが懸念される。
建築物の内部	現状目立つ劣化や今後劣化が懸念される箇所はなし。
敷地及び地盤	現状目立つ劣化や今後劣化が懸念される箇所はなし。

(平成 30 年 10 月時点)

#### 5 対策内容と実施時期

(対策)

屋根及び外壁の塗装を行う。

(事業概要)

当該施設はトタン構造であり、屋根及び外壁の錆付きによる劣化が懸念される。屋根及び外壁の塗装を行い、錆付きの防止を図る

(計画)

・平成 40 (2028) 年度 塗装工事着工・完成

#### 6 対策費用

屋根及び外壁の塗装は平成 40 年度を予定している。費用の内訳は以下のとおりである。

(単位：千円)

部位	金額
外部	230
屋根	120
破風	40
シャッター	40
合計	430